

参加者の傾向

※「みえ発！ボラパック 第1便～第36便」の参加者データを元に作成しました。
先遣隊および事務局スタッフは人数に含まれません。

参加した人数

648 人

日別ボランティア活動人数※

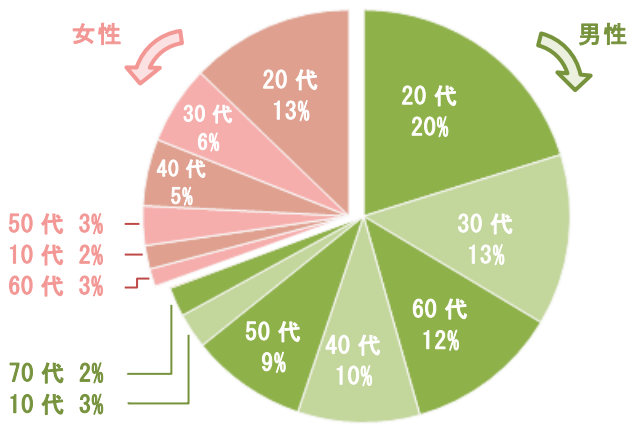
3728 人

※日ごとの活動人数の総数

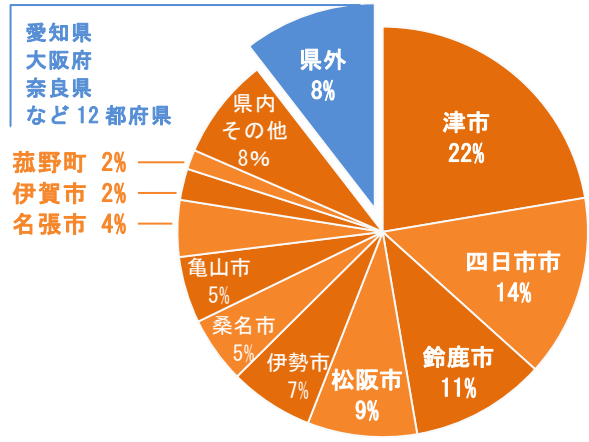


● 参加者統計（性別年代別）

女性 **199** 人 男性 **449** 人



● 参加者統計（住所別）



リピーター（複数便に参加した人） **75** 人

最多参加回数（2便連続を除く） **5** 回

リピーターが最も多かった年代 **20** 代

最多人数の便 **4** 便（37人）

最少人数の便 **35** 便（8人）

最年長 **75** 歳

最年少 **18** 歳

●若い世代が活躍 その裏で光った壮年世代のサポート

4月28日に三重県庁前を出発した第1便から、11月19日に津に帰着した第36便まで、8月の一時期を除き継続して運行した【みえ発！ボラパック】では、延べ648人が片道約15時間もの長距離バス移動に耐え、様々な活動に関わりました。

その参加者の内訳は、性別でみると男性69%・女性31%と男性参加者が多く、男性のみの便が2度ありました。年代別でみると男女とも20代が最も多く、若い力が如何なく発揮されました。しかしその裏には、知識と経験により若い世代を陰ながらサポートする壮年世代の存在が大きかったように感じました。

●リピーターは20代が最多 次いで60代

2回以上参加した人は75人で、その中で最も多く参加した人は5回でした。年代でみると20代と60代はほぼ同じ人数で、参加者数の分布と合わせると、それらの年代における東日本大震災への関心の高さが特にうかがえる結果となりました。

●遠方からもたくさんの参加者

事前説明会への出席が参加条件であるためか、バス発着地の津市及びその近隣市町が中心でした。一方で、県内では桑名市・紀宝町、県外では愛知・大阪・東京など近隣都府県から、沖縄のような遠方や海外からの参加もありました。



【山田町の皆さんへ】小さいながら支援のつもりで、近頃飲む酒はもっぱら東北のお酒です！ 1日も早く、みなさんが心穏やかに元の生活が送れる日が来るよう願っています。また必ず山田へゆきますので！（第34便 吉住友里さん）